

鹿児島県立短期大学の入学受入方針（アドミッション・ポリシー）

【教育理念・目標】

鹿児島県立短期大学は、第一部（昼間）に3学科6専攻、第二部（夜間）に商経学科の1学科を設置した、男女共学の総合的公立短期大学です。

本学の教育目標は、「深く専門の学芸を教授研究するとともに、豊かな教養と、職業又は実際生活において必要な課題探求・解決能力を有する人材を育成し、もって地域社会の発展に寄与する」ことです。この目標にそって、本学では以下のような人を求めています。

- 1 基礎的な学力を身につけて、地域社会において意欲的に活躍する人
- 2 世界の中で思考し、地域に根ざした活動のできる人
- 3 少人数教育の場に意欲をもって参加する人
- 4 創造的な行為を生む知的な冒険をする人

<文 学 科>

区分	日本語日本文学専攻	英語英文学専攻
教育 理 念 ・ 目 標	文学科は、「文学，言語，文化を学ぶことを通して，豊かな文学的感性，柔軟な思考力，的確な表現力を有し，多様化した社会で活躍できる人材を育成する」ことを教育理念としています。	英語英文学専攻は「英米文学，英語学，英語圏文化を学ぶことを通して，英語運用能力と豊かな教養を有し，多様化した国際社会に対応できる人材の育成」を目標にしており，英語の実践的運用能力を高めるよう，習熟度別で少人数の徹底した演習方式の授業を行います。
求 め る 人 材	日本語の歴史の変遷や方言など言語に興味・関心のある人 日本の古典文学や近・現代文学に興味・関心のある人 中国の文学や中国語に興味・関心のある人 日本語教育を通じた国際交流に興味・関心があり，実際に活動をしたい人 中学校教諭二種免許状（国語）を取得して，国語教育にかかわる進路を目指す人	英語運用能力の習得に強い熱意をもつ人 英米文学，英語学，英語圏文化の学習に興味・関心のある人 国際交流にかかわる活動に，英語力を生かして積極的に参加したい人 本学の編入学協定制度を通して，海外の大学に留学したい人 中学校教諭二種免許状（英語）を取得して，英語にかかわる仕事に就こうと考えている人 英語の各種検定の資格取得に熱意のある人
受 入 方 針	大学入試センター試験と個別学力検査の総合評価により入学者の選抜を行います。 大学入試センター試験では，国語，英語（リスニングを含まない），地歴・公民の基礎学力を判定します。 個別学力検査では，高等学校の学習一般を前提として，記述式問題により，論理的思考力や言語等による表現力を総合的に問う総合問題を課します。具体的には，現代文及び古文・漢文を含む文章問題を中心にして，日本語日本文学専攻で必要とする知識や表現力，論理的な思考力を確認します。	大学入試センター試験と個別学力検査の総合評価により入学者の選抜を行います。 大学入試センター試験では，英語（リスニングを含む），国語，地歴・公民の基礎学力を判定します。 個別学力検査では，高等学校の学習一般を前提として，英語読解力，英語表現力等を判定するため，記述式問題により，論理的思考力や言語等による表現力を総合的に問う総合問題を課します。具体的には，多分野にわたる英語長文読解と自由作文を中心として，英語英文学専攻で必要とするリーディング，ライティングの能力及び論理的思考力等を問います。

受 推 入 薦 方 入 針 試	<p>小論文,面接,調査書等の総合評価により,入学者の選抜を行います。</p> <p>小論文では,高等学校において履修する国語(古文・漢文を範囲に含む)を題材に,言語や文学に対する関心や問題意識,読解力,文章表現力等を確認します。</p> <p>面接では,志望理由書および調査書特記事項を参考資料として,志望動機や意欲を見るとともに,口頭による表現能力や判断力を確認します。</p> <p>調査書では,全体の評定だけでなく国語の成績も重視します。また,高等学校における活動・経験なども(面接の中で本人から確認したうえで)評価に加えます。</p>	<p>英語英文学専攻への入学に対する強い目的意識を持ち,入学後に意欲的,主体的に行動できるかを,小論文,面接,調査書等の総合評価により判定します。</p> <p>小論文では,英語英文学専攻で求められる幅広い教養や,多様化した現代社会に対する問題意識を把握できるような問題を課し,修学に必要な読解力,分析力,考察力,論理的思考力,文章表現力等を確認します。</p> <p>面接では,志望動機・意欲や体験・思考等を説得力をもって伝えられるかを確認します。また,実践的英語運用能力を重視し,面接では,実用英語技能検定の二次試験のようなものを課します。さらに,実用英語技能検定などの取得については高く評価します。</p>
--------------------------------------	--	--

<生活科学科>

区分	食物栄養専攻	生活科学専攻
教育	生活科学科は,「衣・食・住を中心とする生活全般を対象とした実践的な専門知識と技能の習得を通して,柔軟な思考力及び判断力を有し,地域社会に貢献できる人材を育成する」ことを教育理念としています。	
理念・目標	食物栄養専攻は,「食物及び食生活についての幅広い科学的知識と専門的知識の習得を通して,健康の維持増進のための実践的能力を有し,地域社会に貢献できる人材を育成する」ことを目標としています。	生活科学専攻は,「衣及び住を身近な環境として位置づけ,自然環境及び社会環境を視野に入れながら,生活全般にかかわる基礎知識の習得を通して,生活にかかわる事象に科学的に対応する能力を有し,地域社会に貢献できる人材を育成する」ことを目標としています。
求める人材	<p>食生活や健康と運動に幅広い関心を持つ人</p> <p>「食生活を科学する」ということに興味を持ち,自ら学習し追究する意欲のある人</p> <p>楽しい食事を創造するための調理や食品加工に興味・関心のある人</p> <p>将来,栄養士として人々の健康づくり,栄養改善に貢献しようという意欲のある人</p> <p>栄養教諭二種免許状を取得して,栄養教育にかかわる進路を目指す人</p>	<p>身の回りにある「モノ」の成り立ちやデザインに興味があり,実践的に学びたい人</p> <p>衣生活や住生活の,歴史や現在のあり方に興味・関心のある人</p> <p>くらしと環境問題など,生活環境に関心のある人</p> <p>消費者問題,福祉,人間関係など,人を取り巻く社会的な環境に興味・関心のある人</p> <p>中学校教諭二種免許状(家庭)や住居・デザイン関連の資格取得に関心のある人</p>
一般入試	<p>大学入試センター試験と個別学力検査の総合評価により入学者の選抜を行います。</p> <p>大学入試センター試験では,国語,英語,理科(生物・化学)または数学の基礎学力を判定します。</p> <p>個別学力検査では,高等学校の学習一般を前提として,自然科学に関連した分野について,記述式により,総合問題を課し,論理的な思考力,分析力,理解力及び表現力を確認します。</p>	<p>大学入試センター試験と個別学力検査の総合評価により入学者の選抜を行います。</p> <p>大学入試センター試験では,国語,英語,理科(生物・化学)または数学の基礎学力を判定します。</p> <p>個別学力検査では,高等学校の学習一般を前提として,記述式による総合問題を課し,生活環境としてみる自然及び社会的な事象についての理解力,分析力,論理性,表現力等を確認します。</p>

方 針	推薦	小論文では、高等学校を卒業した者にふさわしい学力、食物栄養専攻で求められる問題意識及び適性の有無に関して判断できるような問題を課し、自然科学に関連した分野について、論理的な思考力、分析力、理解力及び表現力を確認します。	小論文では、高等学校を卒業した者にふさわしい学力、生活科学専攻で求められる問題意識及び適性の有無に関して判断できるような問題を課し、修学上必要な読解力・分析力・考察力・論理的思考力・文章表現等を判定します。
	入試	面接では、志望動機や意欲等を確認します。調査書・志望理由書では、全体の評定及び高等学校における活動・経験と資格等を評価に加えます。	面接では、生活科学専攻への入学意欲、勉学意欲、生活科学専攻への適性などを総合的に判断します。

< 商経学科 >

区分	経済専攻	経営情報専攻
教育理念・目標	商経学科は、「広く世界、日本、地域の経済・社会と企業の構造と運動を研究し、情報処理の技法習得を通して、柔軟な思考力と企画力を有し、地域に貢献できる人材を育成すること」を教育理念にしています。	経営情報専攻は、「経営や組織の理論を学び、会計・情報処理の技能習得を通して、ビジネスを企画・管理する意欲と能力を有し、地域産業の発展に寄与できる人材を育成すること」を目標にしています。
求める人材	地域社会で起こっている社会的な動向に興味や関心をもつ人 日々世界的規模で変動する経済現象を理論的に裏付けながら理解しようとする人 経済活動をはじめとするさまざまな社会参加の形態に関心をもつ人	企業の活動をその実際的な形から理解しようとする人 ビジネスにおけるIT活用の技能習得を目指す人 会計に関する知識・技能を習得しようとする人
入 方 針	一般入試	大学入試センター試験では、国語、外国語、地歴・公民または数学を課し、基礎学力の到達度を評価します。 個別学力検査では、記述式の教科横断的な総合問題を課し、複数の資料や文章を読み解き、それらを総合して考察する力、論理的に思考する力、自分の考えを的確に文章で表現する力、経済・社会に関する知識・関心の高さを評価します。
	推薦入試	経済・社会に関する関心の高さ、柔軟かつ論理的に思考する力、自分の考えを文章で的確に表現する力を評価する小論文を課すとともに、面接を通して、本学科入学に対する目的意識や意欲、コミュニケーション能力等を評価します。 また、調査書により高校在学中の成績を評価することに加えて、IT・会計・外国語等に関する技能検定や資格の取得、文化・スポーツ活動等での受賞歴等を面接の評価に加えることで、本学科でさらに高度な学問を習得する意志と適性を持つ意欲的な学生を選考します。
	社会入試	学習意欲の旺盛な社会人に広く門戸を開くことを目的とした入試制度であり、経済・社会に関する関心の高さ、柔軟かつ論理的に思考する力、自分の考えを文章で的確に表現する力を評価する小論文を課すとともに、面接を通して、本学科入学に対する目的意識や意欲、コミュニケーション能力等を評価します。

< 第二部商経学科 >

区分	第二部商経学科	
教育理念・目標	第二部商経学科は、「広く世界，日本，地域の経済・社会と企業の構造と運動を研究し，情報処理の技法習得を通して，柔軟な思考力と企画力，そして豊かな人間関係の構築力を有し，地域活性化のために活躍できる人材を育成する」ことを教育理念にしています。	
求める人材	働きながら社会に触れ，体験したことを大学で理論的に再確認してみようとする人 地域社会で起こっている社会的な動向に興味や関心をもつ人 会計やITの知識・技能の習得を目指す人	
受 入 方 針	一般入試	県下唯一の夜間課程である第二部商経学科では，入試の負担を減らし，社会人を含む多様な人材に広く門戸を開くため，大学入試センター試験は課さず，個別学力検査のみで選抜を行います。 個別学力検査では，記述式の教科横断的な総合問題を課し，複数の資料や文章を読み解き，それらを総合して考察する力，論理的に思考する力，自分の考えを的確に文章で表現する力，経済・社会に関する知識・関心の高さを評価します。
	特別推薦入試	経済・社会に関する関心の高さ，柔軟かつ論理的に思考する力，自分の考えを文章で的確に表現する力を評価する小論文を課すとともに，面接を通して，本学科入学に対する目的意識や意欲，コミュニケーション能力等を評価します。
	有職者特別入試	学習意欲の旺盛な有職者，就職内定者，過去に職に就いた経験がある者に広く門戸を開くことを目的とした入試制度であり，面接を通して，本学科入学に対する目的意識や意欲，経済・社会に対する関心の高さ，コミュニケーション能力等を評価します。